

写

第6次杉戸町総合振興計画 第3次実施計画
事務事業評価【外部評価】報告書



令和6年8月

杉戸町総合振興審議会

— 目 次 —

<u>1 はじめに</u>	1
<u>2 事務事業評価（外部評価）について</u>	2
<u>3 外部評価を実施した事業</u>	3
<u>4 評価結果</u>	4
1 農地耕作条件改善事業	4
2 （仮称）杉戸町コミュニティセンター開設事業	9
<u>5 おわりに</u>	15
<u>杉戸町総合振興審議会委員名簿</u>	16

1 はじめに

第6次杉戸町総合振興計画が、令和3年度からスタートし3年が経過した。

町では、基本計画に掲げられた未来像の実現のため、財政計画との整合性を図りながら目標達成に必要な事業の実施計画を作成し、計画的かつ効率的な行財政運営を推進している。

計画の推進にあたっては、より未来像実現のための行政運営や限られた財源の有効活用等を目指し、計画に掲げられた各事業について、内部評価及び町長評価を行うとともに、「開かれた行政」、「町民への説明責任」、「更なる効果的・効率的な事業の実施」を目指し、杉戸町総合振興審議会委員による行政評価（外部評価）を実施しているところである。

杉戸町総合振興審議会では、実施された事業や内部評価に対して住民の視点による客観的な評価を行い、その意見を町の施策に反映させていくことで、協働のまちづくりを推進していくことができると考える。

そのため、この評価結果については、町長をはじめ町職員の全員が真摯に受け止め、行政サービスの向上に不断の努力を払うとともに、各種計画の推進及び予算編成等に反映していくよう要望するものである。

杉戸町総合振興審議会
会長 菊地 信一

2 事務事業評価（外部評価）について

(1) 事務事業評価（外部評価）とは

事務事業評価（外部評価）とは、事業の成果を行政内部のみではなく、広く公開して、住民への説明責任を果たすとともに、その意見を取り入れ、今後の行政運営の参考とする仕組みであり、住民の視点に立った、目的及び成果を重視する行政運営を目指すために実施するものである。

○ 計画 — 実施 — 評価 — 改善 のマネジメントサイクルの確立

PLAN（計画）
⇒ DO（実施）
⇒ CHECK（評価）
⇒ ACTION（改善）

(2) 外部評価の流れ

① 第1次評価（内部評価—担当課長）

各担当課が所管する事業について、担当課が評価をする。

② 第2次評価（内部評価—町長）

第1次評価結果（担当課長評価）について、実施計画の進行管理を担当する総合政策課が集計した後、町長が評価をする。

③ 第3次評価（外部評価）

行政評価に住民の意見を反映するため、外部評価として、杉戸町総合振興審議会委員により、第6次杉戸町総合振興計画に掲げられた各事務事業の中から事業を選定し、評価をする。

(3) 評価の項目

事業の評価	評価の視点	評価項目
① 事業の有効性	主要施策の推進に対して、効果が出ているか。	1. 有効性が高い 2. 一定の有効性がある 3. 有効性に疑問がある 4. 有効性が低い
② 事業の効率性	事業費に対して、効果が得られているか。	1. 効率性が高い 2. 一定の効率性がある 3. 効率性に疑問がある 4. 効率性が低い
③ 事業の妥当性	手段（事業範囲や規模等）は適正か。	1. 妥当性が高い 2. 一定の妥当性がある 3. 妥当性に疑問がある 4. 妥当性が低い
総合評価	1. 順調である 2. おおむね順調である 3. 改善の必要がある	

(4) 外部評価結果の活用

評価結果については、町長へ報告し、次年度以降の予算編成並びに施策・事務事業の選択及び重点化などに活用するとともに、杉戸町総合振興計画の進行管理及び見直し等に活用することを要望する。

3 外部評価を実施した事業

外部評価は、第3次実施計画に掲げた全ての事業（114事業）の中から、外部の視点で事業の方向性を議論することが有意義と考えられる事業について、2事業を選定し、事業の評価をした。

主要施策	評価対象事業	担当課	頁
22 農業振興と6次産業化の推進	67 農地耕作条件改善事業	産業振興課	4
37 町民参加のまちづくりの推進と地域の人材・組織の支援	108 (仮称)杉戸町コミュニティセンター開設事業	住民協働課	9

4 評価結果

1 農地耕作条件改善事業

1 評価対象事業の概要

事業名	67 農地耕作条件改善事業
所管課	産業振興課
事業概要	農地の畦畔除去等による区画拡大を行い、農地中間管理機構を活用した担い手への農地集積・集約化を推進する。 整備にあたっては公益社団法人埼玉県農林公社が行い、協定に基づき町が事業費及び事務費の一部を負担する。
事業効果	担い手への農地の集積・集約化を加速し、農業の生産向上と農地の有効活用を図る。
事業計画	・耕作条件改善事業 7.4ha ・遊休農地の解消 ・農地の大区画化 5,255 千円（令和5年度当初予算額）
事業実績	・機構営農地耕作条件改善事業 遠野・本島地区（二本木裏 約7.2ha） ・地権者 24 名（46 筆） ・耕作者 14 名 → 担い手 7 名（12 区画） ・事業経過 - 令和4年10月 二本木集会所にて農地の集積・集約の説明を行い意向調査を行う - 令和5年6月 意向調査の結果、農地耕作条件改善事業の説明会を行う - 令和5年9月 畦畔及び境界について測量の立会 - 令和5年9月 出し手による中間管理機構の手続 - 令和5年11月 農地耕作条件改善事業実施区域の再配置を行うため担い手との調整 - 令和5年11月～ 畦畔撤去・耕起・レベラーによる整地作業 - 令和6年2月 完了検査後、担い手に引継 4,083 千円（令和5年度決算額）
関連する成果指標（KPI）	農地集積率 34.8%（令和5年度末実績）／ 50%（令和7年度末目標）

2 内部評価

(1) 担当課評価【第1次評価】

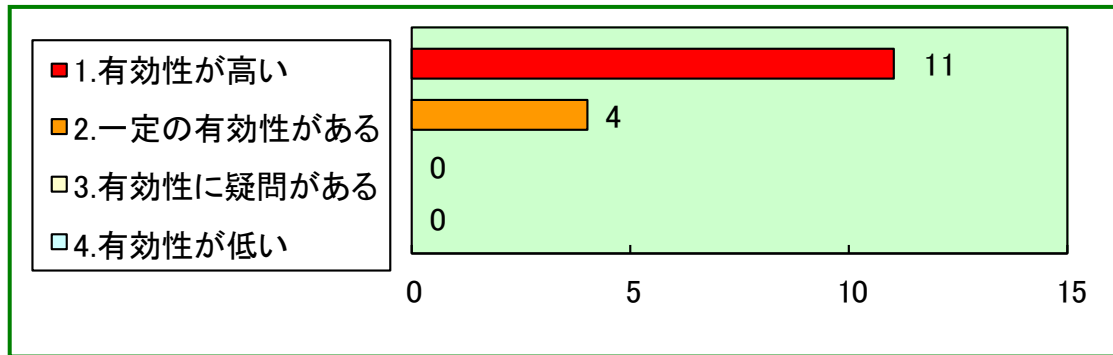
事業 の 評 価	評価項目		コメント
	有効性	1. 有効性が高い	中間管理機構を活用した出し手及び担い手・中心経営体による集約・集積することで、集積率に効果が出ている。
	効率性	1. 効率性が高い	国・県・JA 共済連の補助を活用した事業で、効率性が高い。 負担割合 総事業費 13,553,200 円（町負担 4,082,450 円） 事業費 10,930,000 円（国 50%、県 27.5%、JA9.14%、町 13.36%） 事務費 2,623,200 円（事業費に対し 24%町負担）
	妥当性	1. 妥当性が高い	事業規模として約 10ha 前後の面積で、地権者及び担い手の合意形成を行うのに適正。
	総合評価	1. 順調である	農地耕作条件改善事業を活用して区画拡大を図り、地域の担い手や大規模農家に集積・集約することができた。また、中間管理機構を活用することで、集積率の向上にも効果があった。 今後も地元合意形成を図りながら事業を推進していく。

(2) 町長評価【第2次評価】

事業 の 評 価	評価項目		コメント
	総合評価	1. 順調である	この事業により、農業の生産向上と農地の有効活用が進み、町の農業振興が図られていることがわかる。 今後も事業を積極的に推進し、意欲ある農家が農業を継続できる環境整備に努め、「魅力ある産業を育み、発信できるまち」（計画未来像6）の実現に向けて、町の農業の魅力向上を図ること。

3 外部評価 【第3次評価】

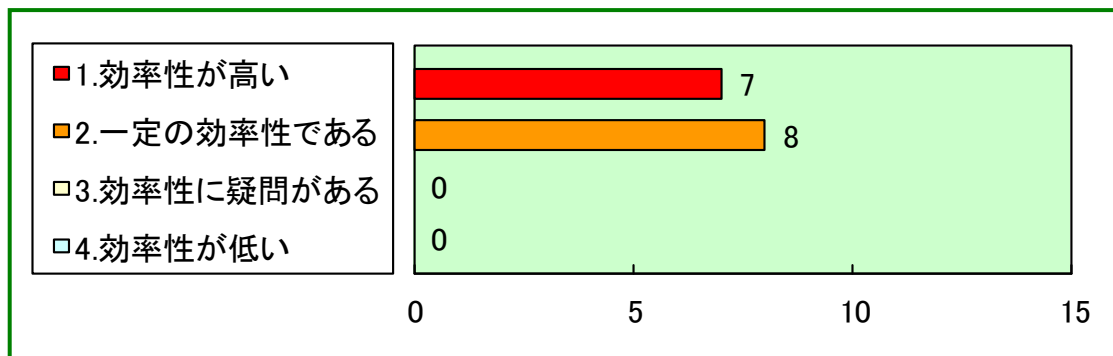
① 事業の有効性



委員からのコメント

- 国や県との連携を図り、計画的に事業を進め、担い手の高齢化に対応する有効な手立てであると思います。
- 耕作放棄地の抑制や農業の事業継承に対し、有効性が高い。
- 集約・集積の実績があり、有効であると考えます。
- 集積率の効果が次第に現れていると思います。

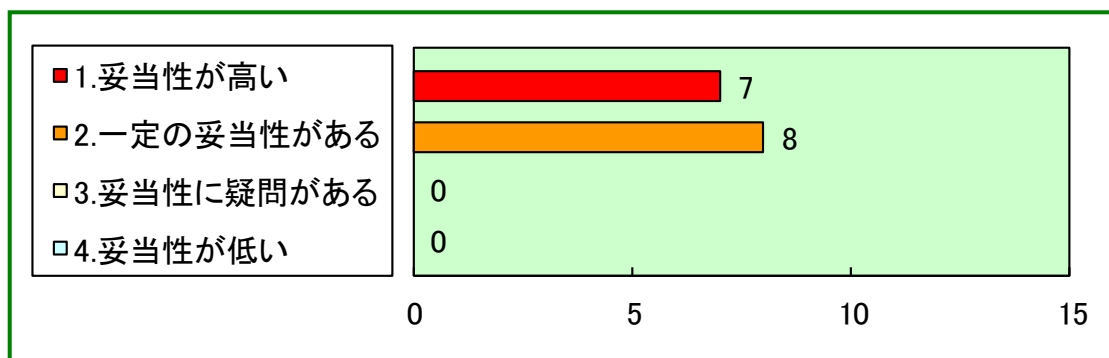
② 事業の効率性



委員からのコメント

- 財源的に、国や県との連携が取れています。
- 補助制度を活用することで、効率の高い整備を行っています。
- 事業費に対して、町負担が少ないので良いと思います。
- 国、県、JAの補助を活用しており、効率性は高いと考えます。
- 一定の効率性が見られますが、国・県などの補助が継続されるかどうかは不安です。

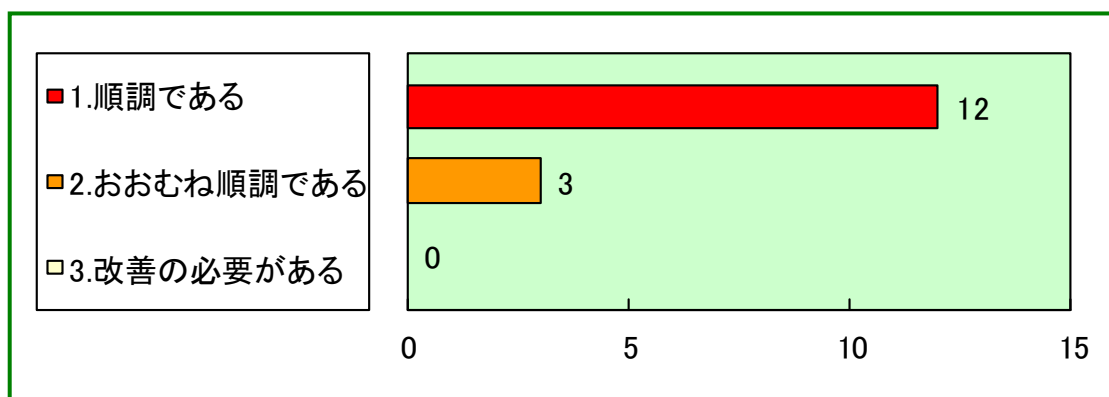
③ 事業の妥当性



委員からのコメント

- 担い手の不足、高齢化を見越して、適切な手段であると思います。
- 現状の範囲は適正と考えますが、今後ますます従事者の高齢化が進む中では、より広い範囲で行うことも検討の余地があります。
- 地権者、担い手の合意形成を行う上で、妥当性が高いです。
- 町の一般財源からの支出は少ないが、国、県等からの補助額を考えると、13,553,200 円は妥当性が高いとは考えにくいと思います。
- 大規模法人に過度に集約されてしまうことも心配です。

④ 総合評価



委員からのコメント

- 農業機械（一台あたり）の利用面積、米の生産費に占める農機費の割合は2割と聞きましたが、利用面積拡大とバランスはどのようになっているのでしょうか。賃貸や共同利用、購入に当たっての支援サービスを進めて欲しいと思います。また、出し手に対する賃料収入の引き上げ、固定資産税の軽減などを進めるべきかと思います。
- 事業実績にある地権者、耕作者、担い手等の数字が、どの程度の効果として考

えるのかがよくわかりませんが、担当者評価の理由を参考に評価しました。

- 農業を守り続けることは、とても大切だと思います。担当の方々がいろいろなことを考え、杉戸の未来の為に働いてくださっていることにとても感謝します。
- 耕作者の使い勝手が良いように耕作地を集約することは、良いことだと思います。これからの担い手に期待します。
- 農地は、災害においても大切なものなので、耕作放棄地にならないように願っています。
- この事業は、スピード感を持って行う必要があると思います。他の施策と共に、魅力ある農業の創生を図って欲しいです。
- 大規模農業従事者（農業生産法人等）の誘致や新規営農者の育成プログラムとの連動を期待します。
- 杉戸ブランドになる物を作ってもらいたいです。
- 農業の担い手の高齢化やデータを伺い、予想以上で大変驚きました。魅力ある農業として次世代の担い手拡大が急務だと感じました。
- 町全体で課題を共有して、皆で支えていくべき事業であると考えます。ぜひ魅力ある農業のために、がんばっていただきたいと思います。
- この事業をさらに推し進め、町の農業振興を図っていただきたいです。スピードアップする必要があると思います。
- 農業が「魅力ある産業」になり得るのか、その方向性や道筋が具体的にイメージできるような事業計画や発信を期待したいです。

2 (仮称)杉戸町コミュニティセンター開設事業

1 評価対象事業の概要

事業名	108 (仮称)杉戸町コミュニティセンター開設事業
所管課	住民協働課
事業概要	旧杉戸小学校跡地の活用方針に基づき、令和6年4月1日に跡地内の複合施設1階に町民の交流や主体的で多様な活動を促進し、コミュニティの醸成を図り、住みよい地域社会を実現するため杉戸町コミュニティセンターを開設した。
事業効果	活用方針に基づき、指定管理者制度を導入し、民間のノウハウを活かしながら、学習、交流、創業支援等のソフト業務の拡充を図ることで、町民サービスの向上や交流の促進を図る。
事業計画	コミュニティセンター開設のための主な準備 ・新規の条例、規則等、関係例規の制定 ・指定管理者制度の導入 ・住民の要望に配慮した設備、備品等の整備 ・図書室・学習室については図書館と連携し運営
	22,731千円(令和5年度当初予算額)
事業実績	杉戸町コミュニティセンター開設・運営準備 ・指定管理者の選定を行うにあたり、仕様書、募集要項等の作成及びプロポーザルを実施し導入した。 ・条例に基づき規則を制定し、詳細な運営・予約方法の検討等を行った。 ・利用者説明会を実施した。 2/18(日)開催 参加者 約70人 ・サークル団体の参加や協力を得ながら、オープニングイベント(内覧)を行った。 3/9(土)開催 参加者 約2,000人 旧中央公民館サークル協議会によるステージパフォーマンスを実施(4団体発表) ・利用サークルの要望等に基づき協議し事業に御理解いただけるように努めた。 ・備品や図書等の購入・設置を行った。
	18,233千円(令和5年度決算額)
関連する成果指標(KPI)	—

2 内部評価

(1) 担当課評価【第1次評価】

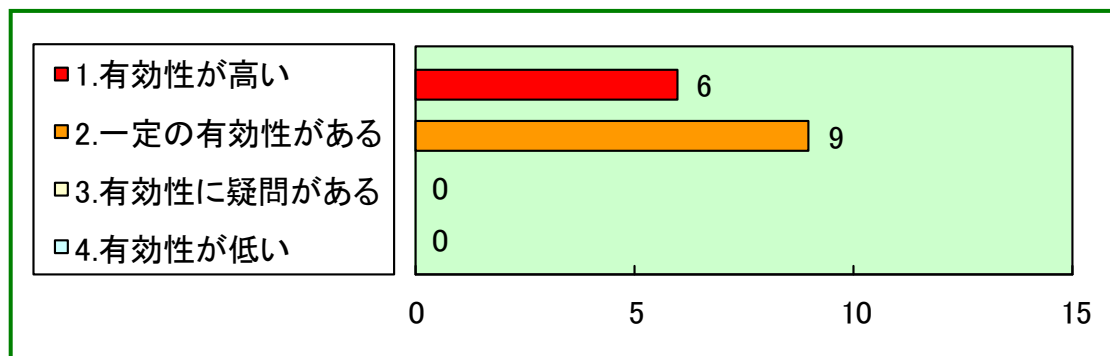
事業 の 評 価	評価項目		コメント
	有効性	1. 有効性が高い	活用方針に基づき、事業者の自主性・独自性を発揮しやすい指定管理者制度の導入を行うことで、町民サービスの向上、交流の促進が図られる予定であり、有効性が高いものと判断した。
	効率性	1. 効率性が高い	備品については、入札等を実施し、適正な価格での購入に努めた。また、図書室の図書については、図書館の協力により、連携し運営したことで、図書の効率的な選定や購入を行った。
	妥当性	1. 妥当性が高い	備品を購入するにあたり、旧中央公民館利用者や指定管理者と協議をしながら選定したため、利用しやすく施設に即したものが購入できたと考えており、妥当性が高いものと判断した。
	総合評価	1. 順調である	令和3年度より準備を始め、旧中央公民館利用者等との調整、関係例規の制定、指定管理者の導入、備品の購入・設置等を行った。建物の引渡し後、施設概要や予約方法等の利用者説明会を2月に行い、理解を得ながら、3月にオープニングイベント（内覧会等）を実施し、4月1日にオープンすることができた。 今後、コミュニティセンターを運営をしていく中で、町民や利用者等の御意見を伺いながら、運営について指定管理者と協議を進め、町民の様々な活動を支援していく。また、旧杉戸小学校跡地活用事業として、多世代が憩い、利活用できる公共空間となるように、情報共有を図りながら事業に協力していく。

(2) 町長評価【第2次評価】

事業 の 評 価	評価項目		コメント
	総合評価	1. 順調である	旧中央公民館利用者等と調整を図りながら事業を実施したこと、施設の管理運営に民間活力を導入するため指定管理者制度を採用したことで、町民が利用しやすい施設になっていると評価できる。 今後も、施設運営にあたっては、町民の交流や活動等を促進し、コミュニティの醸成を図ることができるように取り組んでいくこと。

3 外部評価 【第3次評価】

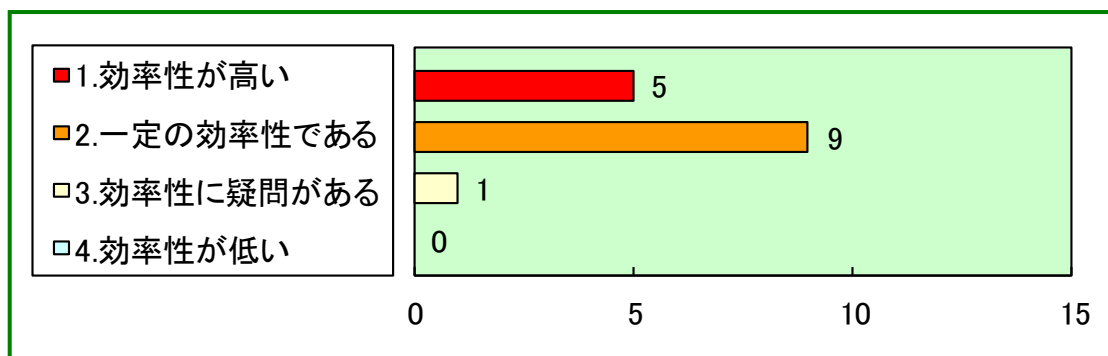
① 事業の有効性



委員からのコメント

- 「休館日がない」、「営業時間が長い」など有効性が高い施設です。
- 様々な用途に対応できる（防災も含め）。今後の活用を期待しています。
- 駅に近い町の入り口にある利便性の高いコミュニティ施設だと思います。
- 町民サービスの向上が図られており、有効性があると考えます。
- 町民の新しい交流促進の場として、一定の有効性があります。
- プロモーションが素晴らしい。住民が実際に利用してみたいと思える周知ができています。

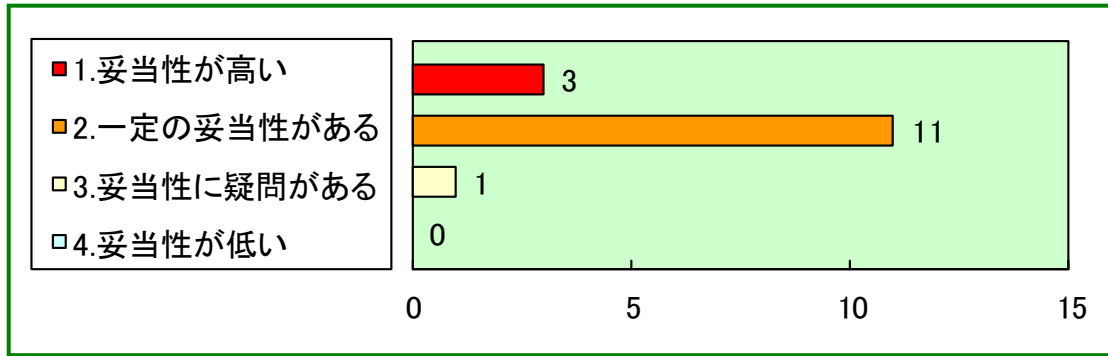
② 事業の効率性



委員からのコメント

- 4月1日からのオープンなので、まだ評価しづらいことが多いです。
- 指定管理者と相談しながら、効率化と利便性を両立させて欲しいです。
- プロモーションに対するコストを振り分ける量に検討の余地があると思います。
- 図書の選定等について効率性を意識して行っている点は評価できます。

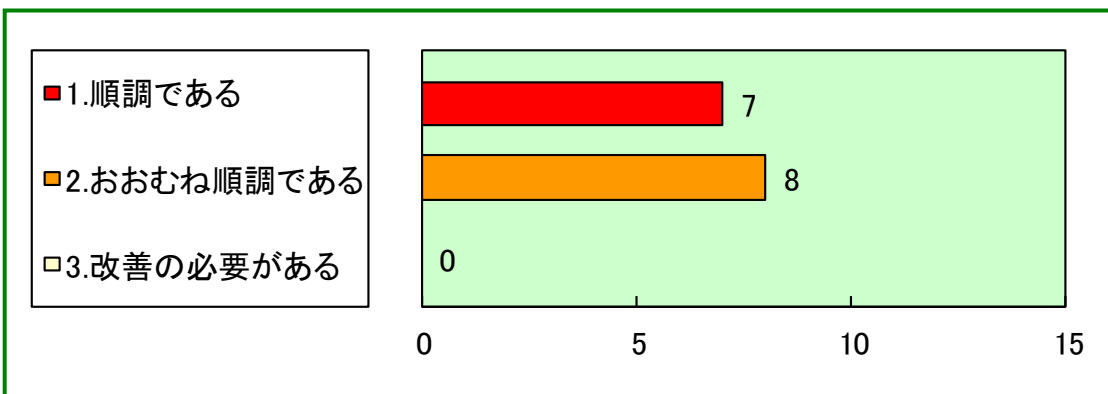
③ 事業の妥当性



委員からのコメント

- 事業者提案の範囲内だと思います。
- 施設に適合した備品を購入しており、妥当性があると考えます。
- 施設に即したものの購入に気を配っている点に一定の妥当性を認めます。
- 特に子育て世帯から大変好評で、子育てしやすい街としてプロモーション効果もあります。他の自治体住民からも好評です。

④ 総合評価



委員からのコメント

- オープンからの日が浅いことと、杉戸小学校そして跡地との歴史的な時間に寄り添ってきた地元の人達からのロケーションは、戸惑うばかりかもしれません。公民館とコミセンの違いをよくよく説明しきってなかったことも、この戸惑いの中の一つかと思います。コミセンは、もちろん公民館の機能を保持した上で地域と行政のパイプ役として、理想論かもしれませんが、住民主導型、つまり住民自治の場ではないかと思っています。
オープン後、盛んに様々なイベントが行われています。この新鮮な感覚は、かつてなかったもので、高く評価したいと思います。ただ、この高い評価をどこに向けたらよいのか戸惑っているのも現状です。地域課題における指定管理者の役割を地域の方々が理解し、共有していくことが大切であると感じています。

- 指定管理者が防災のイベントを開催すると聞き及んでいますが、少し残念でした。杉戸町には自主防災会があり、行政区、自治会、町内会などを母体とした団体が 51 団体あり、自主防災の要と考えます。地域密着をうたうのであれば、指定管理者は、もう一步町の組織、仕組み、それぞれの町内活動などに踏み込んでもよいのではないかと感じています。
- 総合評価は「おおむね順調である」とさせていただきましたが、旧中央公民館利用者に偏ることなく町全体の楽しめる施設として運営をしていただきたいと思います。これからの運営が杉戸町の発展につながるように期待しています。
- 一般町民への広報活動を期待します。
- イベント等のお知らせは広報紙に載っているのに周知されていないと不満を持つ方がたくさん居るようなので、もう少し広報紙を利用してくれたらと思います。
- 始まったばかりの事業なので、町民に効率的に利用されているかは疑問が残ります。これから町のシンボルとして活用されることを望みます。
- 開設後まだ月日があまりたっていませんが、利用者の声を良く聞いてリピーターを増やし、使いやすい施設にして欲しいです。また、PR を充分にして欲しい。
- 利用促進や新規利用者の増加に向けた各種イベントやプロモーションの実施に期待します。発信の仕方にも工夫が必要だと思います。
- 駐車場が狭いです。
- 町民の利用に直接かかわるサービスなので、きめ細やかな情報提供と利用案内をお願いしたいと考えます。
- 今後の事業展開に期待します。
- 施策 37 の「将来のまちづくりを担う地域の人材や団体の育成・支援」を図る対象は、地縁団体や趣味のサークル以外に、新たな事業の立ち上げを検討している起業予備軍といえる町内外の市民も重要であると考えられます。利便性が高い立地の新しい施設が低料金で利用できると、民業圧迫となり、起業意欲を削ぐ可能性に留意すべきと考えます。
- 指定管理者によるイベント企画予定が年間 100 回、その他の共同イベントが 10 回ということですので、是非、「住みよい地域社会実現」の為に開設したコミュニティセンターとして、高齢者支援・障がい者支援・創業支援・子育て支援などを含めた、町民全体及び町外住民へ向けての充実した内容の企画取組、及び事前広報活動を期待しています。
- 事業費用は、事前備品購入等費用の 18,233 千円その他、運営費用として年間 30,000 千円で契約期間 5 年間、合計では 150,000 千円ですが、施設の部屋の広さや数、イベントに使用できる庭の広さ、一度に集客可能なキャパシティなど施設の規模やサービス内容に対して妥当かどうかの判断は、地域別利用者数や施設を利用していない住民も含めた満足度など、毎年行われる検証結果を踏まえてなされると思いますが、その検証結果を公開していただく事で、課題に対する解決に向けた住民からのアイディアの提案が行われると思います。

その様な小さな積み重ねによる、状況の変化に伴う臨機応変な住民目線での日々の改善が、子供や孫達、10 年後・50 年後・100 年後の「杉戸町の住みよい地域社会実現」に繋がると思います。

5 おわりに

町では、第6次杉戸町総合振興計画に掲げられた町の将来像である「みんなで育てるまち すぎと」に向け、第3次実施計画に掲げた様々な事務事業を実施してきたところであるが、昨年度に引き続き、杉戸町総合振興審議会において、そのうちの2事業について評価を行った。

外部評価を行うにあたり、事業を実施した担当課から直接説明を受け、質疑を行うことで、単に成果を確認することに留まらず、担当課の考え方や現状、課題なども聞くことができ、事業の妥当性や今後の展望などを踏まえて、客観的な評価を行うことができた。

今回、外部評価を実施したのは、農業振興を図る事業や町民交流を促進する事業であり、魅力ある町づくりに欠かせないものであるため、今回の評価結果を真摯に受け止め、今後の事業に対し有効に活用し、さらに進展していくことを期待する。

結びに、この報告書の内容については、第5次実施計画の策定や、令和7年度の予算編成に活用していくとともに、今後の杉戸町発展の一助となれば幸いである。

杉戸町総合振興審議会委員名簿

1号委員（関係団体等を代表する者）7名 (敬称略)

No	氏 名	備考
1	木村 三樹男	
2	松村 美知子	
3	板橋 昇	職務代理者
4	鈴木 豊	
5	宮野尾 政子	
6	横井 正樹	
7	谷藤 恵美	

2号委員（識見を有する者）5名

No	氏 名	備考
8	水野 順子	
9	中里 圭介	
10	佐々木 誠	
11	菊地 信一	会長
12	青木 恵理	

3号委員（まちづくりに関心の高い者）3名 （公募）

No	氏 名	備考
13	新井 晃	
14	茂利 浩幸	
15	斉藤 智章	